

11. 断層撮影の「断面外部」における X 線配量分析
(断面を外れた部に存するものの「ブレ」方について)

土屋豊・水木清・関昌夫 (順大放射線)

従来、断面撮影といわずに断層撮影とよんで、あたかも、ある厚さの層が、そのまま像を結ぶものであるかに思われがちであつた。しかしながら断層撮影の原理にたしかえて考えてみると、撮影目的とした断面以外の部分の像はすべて、多少にかかわらず「ブレ」で断面の像に重なることになるから、断面の診断にあつては「断面外部」すなわち断面を外れた部分の X 線配量を究め

る必要がある。つまり「断面外部」に存するものが、どんな「ブレ」方をするかを知らねばならない。われわれはストロボ法を応用して X 線管の移動角度によつてその部の X 線配量を求める理論をたて、さらにこれを吟味する意味において、フィルム黒化法の実験を行つたところ、理論と実験の結果が傾向においてよく一致し、理論の正しいことがわかつた。われわれは「断面外部」の X 線配量を配量増加部分と配量減少部分とに分け、それらの組合せによつて、その部に存するものの「ブレ」像が成立つていることを知つたのでここに報告する。

訂 正

34 卷 3 号 179~184 頁池田論文中に誤りがありましたので訂正します。

表 8

正

脂 肪	ヘモグロビン	水 分	総窒素
% RA	D RH	% RW	$\gamma/mgRN$

誤

脂 肪	ヘモグロビン	水 分	総窒素
% RA	D RH	% RW	% RN

文献 9) Wells, H.G. & Long, E.R. : Chemistry of Tuberculosis, **Baltimore**, 2nd ed. P. 204, 1932.

Wells, H.G. & Long, E.R. : Chemistry of Tuberculosis, **Baltimore**, 2nd ed. P. 204, 1932.

結 核 第34卷 第4号 毎月1回15日発行

昭和34年4月10日印刷 定 価 120円(千共)
 昭和34年4月15日発行 (振替) 東京 53756
 編集兼 限 部 英 雄 東京都世田谷区経堂460
 発行人 王 文 社 東京都中央区越前堀2ノ24
 印刷所 電話 (55) 5087-5088
 発行所 日本結核病学会 東京都千代田区神田三崎町1ノ2
 電話 (29) 1501~5